

連絡先: メディア・リレーションズ
岩立澄子
(03)5424-5020



For Immediate Release

モルガン・スタンレー、日本においてホテル・マネジメント会社設立

パノラマ・ホスピタリティが、モルガン・スタンレー不動産ファンドの所有するアジア・パシフィック地域のホテルを運営管理

2005年9月30日 東京 – モルガン・スタンレーは本日、日本においてモルガン・スタンレー不動産ファンドが所有する日本およびアジア・パシフィック地域のホテルを運営管理するホテル・マネジメント会社を設立したと発表した。

新会社の名称は「株式会社パノラマ・ホスピタリティ」であり、当初は2003年以降にモルガン・スタンレー不動産ファンドが取得した、ウェスティンホテル東京、ハイアット・リージェンシー京都(2006年春開業予定)、新神戸オリエンタルホテル、オーストラリアにあるロイヤル・パインズ・リゾートを含む13のホテルを運営管理する。株式会社パノラマ・ホスピタリティは、総収入250億円(2億4千万米ドル)、部屋数2,800室、合計1,800名の従業員を擁するホテル群を運営管理するマネジメント会社としてスタートを切る。

モルガン・スタンレーのアジアにおける不動産業務を統括するソニー・カルシは、「このたびのホテル・マネジメント会社の設立は、当社のホテル業界への強気の見通しとホテル事業拡大へのコミットメントを裏づけるものである。ファンドによるアジアでのホテル投資の継続に伴い、パノラマ・ホスピタリティの運営するホテル・ポートフォリオも拡大する予定であるが、将来的に同社は外部からのホテル運営受託も目指す」と語っている。

同社の社長には、ホテル業界で25年の経験を持つロバート・ウィルソンが就任し、最高業務責任者(COO)には20年の業界経験のあるカビン・ブルーマーが着任する。同社は17名の社員で業務を開始するが、一年以内に30名ほどに拡充する予定だ。

ロバート・ウィルソンは、「当社の経験豊富なホテル・マネジメントの専門家チームが、ホテルの顧客サービス向上を目指して大幅な改装や運営・経営体制の改善などを指揮監督する。多くの場合、当社が単独のマネジメント会社となるが、適宜、大手のホテル・チェーンとの協力関係も模索していく」と語っている。

株式会社パノラマ・ホスピタリティは、時価総額で世界最大級の投資銀行、モルガン・スタンレーの 100%子会社である。

モルガン・スタンレーの不動産部門は、主に投資、投資銀行業務、融資の 3 つの事業を世界中で展開している。不動産事業に 1969 年に参入し、年間 110 億ドルの商業用不動産担保ローンを組成しているほか、M&A や事業再生のアドバイザー、資本増強、公募、私募による株式および債券資本調達など、幅広い投資銀行サービスを提供している。1991 年以降、運営する不動産ファンドは、全世界で 677 億ドルを超える不動産を取得し、現在も計 362 億ドルの顧客の不動産資産を運用している。日本においては 1997 年から活動を開始しており、不動産関連資産(オフィス・住居・商業・ホテル施設)や、各種企業再生案件などを中心に活発な投資活動を行っている。

モルガン・スタンレーはグローバルな総合金融サービス企業であり、証券、資産運用、クレジット・サービス業務において、市場のリーダー的存在である。現在、世界 28 カ国に 600 を超えるオフィスを擁する同グループは、人、アイデア、資本をつなぐグローバル・ネットワークを最大限に生かし、世界中の顧客に質の高い金融商品およびサービスを提供している。

* * *